

第3期室蘭市学力向上基本計画の策定にあたって
{2018(平成30)～2022(平成34)年度}

室蘭市教育委員会 教育長 國 枝 信

はじめに

本市におきましては、2014(平成26)年3月31日に「第2期室蘭市学力向上基本計画」{2014(平成26)～2017(平成29)年度計画}を策定し、「学校規模に応じた事業の推進」「教職員の指導力の向上」「学力向上推進プランの検証改善サイクルの円滑な推進」「家庭地域との連携、小・中連携教育等の一層の推進」という四つの重点に基づく学力向上の取組を進めるとともに、それらを支える本市教育委員会や教育研究所の学力向上の事業を進めてまいりました。

本計画の実施4か年の成果と課題といたしましては、学力諸調査の結果から、全国平均点を基準としたときの室蘭市の相対的な学力差が確実に縮んでいることが挙げられます。各学校における授業改善に資する取組が、学校として明確な目標と方向性をもつことによって機能するとともに、授業研究の成果が室蘭市内で共有されてきている点が要因であると捉えています。

課題については、学校間、個人間の学力格差があること、家庭における生活・学習習慣の改善をさらに推進すること、算数・数学における学力層が三つ以上に分散している傾向を改善することなどにあり、今後一層の取組が必要であるものと捉えています。

この度、これらの成果と課題を踏まえ、教育の機会均等と教育水準の維持向上の観点から本市の子どもたちの確かな学力の一層の向上を図るために、第3期学力向上基本計画を策定いたしました。

加えて、2020(平成32)年には小学校で、2021(平成33)年には中学校で新学習指導要領の全面実施となり、今年度から移行措置期間が始まります。よりよい教育を通じてよりよい社会をつくるという目標を、社会に開かれた教育課程という理念により達成することは、本市の教育の充実のためにも欠かすことのできない視点となります。

第3期計画の策定にあたりましては、各学校の取組が一層実効性のあるものとなるよう、第2期計画の点検評価に基づく目標や具体的な取組の検討を「室蘭市学力向上推進委員会」で行ってまいりました。

今後は、第3期計画の目標の実現に向けて、すべての取組を効果的に展開し、本市の子どもたちの学力の課題解決に向けて、学校や本市教育委員会、教育研究所はもとより、保護者や地域の方々とも課題意識を共有しながら本計画の推進に取り組んでまいります。

結びに、第3期計画の策定にあたりご尽力をいただいた皆様には厚くお礼を申し上げますとともに、保護者、地域、関係機関の皆様におかれましては、本計画の推進にあたってのご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。